

小論文試験問題出題の意図

近年、価値観の多様化やインターネットの台頭にもなって、選択・決定の在り方や自身への評価や承認に対する子どもたちの思いは多様化している。本作品の著者は、近年は他者の態度や意見を参考にしながら自らの選択を行う傾向が高まっていることや、それにもなって、言動の重みが失われている現代の教師による評価や承認よりも、クラスメートからの評価や承認の方が圧倒的な重さを持つようになっていることを指摘している。児童生徒を評価や承認するというのは教師としての基本的な姿勢であると考えられるが、その評価や承認の仕方の工夫や、あるいは評価や承認のうえにさらに施される別の教育的・支援的関わりを考えていくことが必要だといえる。

そこで、これらの著者の考えを的確に理解したうえで、今後の学校教育における教師の在り方について自分の考えを示し、そのために何をすべきかを明瞭かつ論理的に記述することで表現させる。

以上により、思考力、判断力、表現力をみようとすものである。